

平成28年度一般会計決算のポイント

<総括> ※()は対前年度比

◎ 歳入・歳出は約1兆8,000億円で、過去10年間では2番目に高い水準
歳入総額 1兆8,083億円(△29億円 △0.2%)
歳出総額 1兆7,998億円(△20億円 △0.1%)

- 歳入は、県税(+166億円)、地方交付税(+114億円)などが増加
[H27]1兆8,113億円 [H26]1兆7,586億円 [H25]1兆6,736億円
- 歳出は、民生費(+237億円)、衛生費(+42億円)、土木費(+53億円)などが増加
[H27]1兆8,018億円 [H26]1兆7,470億円 [H25]1兆6,669億円

<歳入の特徴> ※()は対前年度比

◎ 県税収入は7,700億円で5年連続の増加 +166億円
自主財源の比率は2年連続で上昇し6割を維持

- 税制改正により地方法人特別税(国税)の一部が法人事業税(県税)に還元された影響などにより、5年連続で増加
県税 7,700億円(+166億円、+2.2%)
[H27]7,534億円 [H26]6,871億円 [H25]6,674億円
- 納税率は97.4%(+0.5ポイント)で、6年連続の上昇
- 収入未済額は184億円(△30億円)で、6年連続で圧縮
- 自主財源の比率は、県税の増加などにより2年連続で上昇し、60.6%(+0.3ポイント)
[H27]60.3% [H26]53.4% [H25]54.1%

◎ 県債発行額は減少 △58億円
県で発行をコントロールできる県債の残高は14年連続で減少

【県債発行額】

- 臨時財政対策債(△196億円)の減少などにより、県債発行額は減少
県債 2,298億円(△58億円、△2.5%)
[H27]2,356億円 [H26]3,302億円 [H25]2,992億円

【28年度末県債残高】

- 県で発行をコントロールできる県債(臨時財政対策債・減収補填債を除いたもの)の残高は、前年度に比べ減少(14年連続減)
残高全体 3兆8,019億円(+108億円)
うち県で発行をコントロールできる分 2兆633億円(△554億円)
[H27]2兆1,187億円 … [H14]2兆5,865億円

<歳出の特徴> ※()は対前年度比

◎ 民生費は、医療、介護、保育など社会保障関連経費が増加 +237億円

- 給付対象者の増加等に伴い、後期高齢者医療対策事業及び介護保険給付事業に対する県負担金等が増加 [H27]1,150億円→[H28]1,209億円(+59億円)
- 保育所待機児童対策を進め、保育サービス受入枠を拡大したことなどに伴い、保育給付費負担金が増加 [H27]114億円→[H28]161億円(+48億円)
- 介護サービス提供体制の整備に向けた地域医療介護総合確保基金への積立金の増加 [H27]30億円→[H28]101億円(+71億円)

◎ 衛生費は、大学附属病院等整備予定地の購入等により増加 +42億円

- 医師の確保及び育成に対応するため、大学附属病院等の整備予定地を購入したことによる増加 [H28]34億円 皆増

◎ 農林水産業費は、平成26年の大雪被害に対する助成が終了したことなどにより減少 △84億円

- 平成26年の大雪被害に対する助成が終了したことによる減少 [H27]78億円 皆減

◎ 土木費は、橋りょうの計画的な維持補修やさいたまスーパーアリーナ・けやきひろばの大規模改修等により増加 +53億円

- 補修・更新が必要な橋りょうが急速に増加する中、安心して安全な道路を維持するため、橋りょうの計画的な維持補修や架換えを進めたことなどにより、道路橋りょう費が増加 [H27]427億円→[H28]467億円(+40億円)
- さいたまスーパーアリーナの外壁等の改修や大型映像装置更新、けやきひろばのトイレリニューアルやバリアフリー化などを行う大規模改修費が増加 [H27]3億円→[H28]20億円(+17億円)
- ラグビーワールドカップ2019の開催に向けた、熊谷ラグビー場のスタンド改修費が増加 [H28]6億円 皆増

◎ 諸支出金は、地方消費税関連経費の減等により減少 △186億円

- 県内市町村への地方消費税交付金の減少 [H27]1,170億円→[H28]1,054億円(△115億円)